

お得意先各位

 株式会社 **ミズホ**
名古屋市昭和区山花町64-1
TEL052-763-4171
FAX052-761-3771

緊急営農情報**冷夏予報が出ました！**

4月10日、気象庁がエルニーニョに関する情報を発表しました。

それによると、今夏はエルニーニョ現象により、5年振りの冷夏となる見通しです。

特に北日本では6月より平均気温が下がる予報が出ております。水稻では分けつ不足、畑や果樹では生育不良、落花や落果の恐れがあります。

平年並みの気温である5月中に、しっかりと根づくりを行うことが対策の一つになります。

リン酸を効かせて、しっかりと根づくりを行ってください。

【想定されるトラブル】

水 稲	・倒伏 ・分けつ不足 ・不稔、未熟粒 ・病気など
畑 作	・肥大不良 ・糖度不足 ・病気など
果 樹	・糖度不足 ・肥大、着色不良 ・花芽分化不良 ・病気など

対 策 (水稻・畑作)

冷夏に対応するためには、夏が到来してからでは遅すぎます。

生育初期の苗作りや根作りをしっかりと行い、天候不順に耐えられる体を作りましょう。

○苗づくり・・・徒長させない、ガッチリとした苗づくり！

徒長苗は発根力が弱く、病気に対する抵抗力も弱くなります。

「苗半作八分作」と言われるように、苗の出来が作の後半まで影響します。

<徒長防止の具体策>

- ・Pフォスタ：500～800倍液（水稻）、600～1000倍液（野菜）を3～5日おきに葉面散布。

○定植前後の管理・・・リン酸で発根促進

根張りを良くすることで、バランス良く養分を吸収し、気温低下・日照不足などの外部環境の変化に強い体を作ります。また、耐病性も強化します。

<発根促進の具体策>

- ・元肥にMリンPK：20～30kg（10a 当たり）
- ・疎植・浅植え、定植後30日以内の落水（水稻）

対 策（果樹）

永年作物である果樹は、花や若葉内の栄養分を充実させ、良い実を確実に着果させることが重要です。

<具体策>

- ・開花前であれば、開花2週間前にMリンPK：30～40kg（10a 当たり）
開花済みであれば、受粉作業完了後にMリンPK：30～40kg（10a 当たり）
- ・Pフォスタ：500～800倍液を花・葉・枝に葉面散布（3～5日おき）

1993年時のように、冷夏は農産物の生産に大打撃を与える可能性があります。
ご不明な点は地域担当者または弊社までお問い合わせください。

以 上